

エビデンスに基づく自治体施策の最適化に向けた KDB システムの活用

株式会社 野村総合研究所

ヘルスケア・サービスコンサルティング部 コンサルタント 神戸 はるか

人材面でも財源面でも行政のリソースには限界がある中で、増加し続ける高齢者に対応するため、行政の持つ健康データを活用した高齢者施策の再構築が求められている。エビデンスに基づく保健福祉施策、すなわち EBPM の実現を図り、限られたリソースでより効果的な取り組みを行うためには、個人別健康・医療データが収集された KDB システムを活用しない手はない。個人単位の健康状態や受療状況を把握できるデータとして、広範な活用が期待されるが、本稿では行政リソースを適切に配分し、効果的な行政施策を展開する観点から効果的な活用例を二つ紹介したい。

一つ目は、自治体内の地区別健康状態の分析である。KDB システム内に含まれる地区分類を用いて、地区ごとの健診受診率や健診結果、疾病の罹患（りかん）率・新患発生率などを算出することで、地区別の健康状態や健康意識の傾向を見ることができる。さらに、外部オープンデータや自治体内の医療・介護資源など他の情報と組み合わせることで、環境要因による健康状態への影響も可視化される。分析結果から相対的に健康状態の悪い地区で優先的に施策を実施する、施策実施地区とそうでない地区の健康状態の推移を追い、より正確な事業評価を行うといった活用が想定される。例えば、交通の便が悪い地区で買い物に行くのが難しく、低栄養に陥る高齢者が多い場合、デマンド型バスや民間企業との連携による移動式店舗など、移動支援・買い物支援の導入が検討されることになる。

二つ目は、状態悪化が“懸念される”住民の抽出が挙げられる。KDB システムデータを活用すれば、特定保健指導などの事業対象者ではないものの、過去 5 年間のデータから、悪化傾向にある“ブレ”ハイリスク者を抽出することが可能である。例えば、高齢者のフレイルの要因の一つである低栄養の基準値は、一般的に BMI18.5 未満とされるが、基準値以上でも低栄養のリスクのある高齢者には早期支援が望ましい。個人別に 2020 年・21 年、2018 年・19 年のそれぞれの BMI の平均値を比較することで、各住民の数値変動の傾向を見ることができる。これらの分析結果を応用すれば、BMI18.5 以上であっても、急激な悪化傾向の途上にある住民に対しては、ブレハイリスク者として優先的な施策誘導・実施が検討されることが望ましい。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の流れを受けて、先行的な自治体では上記のような KDB システムを活用した施策展開の試みが開始され、当社でも厚生労働省の調査研究事業において茨城県大子町、山梨県北杜市における分析・施策検討支援を実施している。こうした取り組みが広がることで、KDB システムを含めた健康ビッグデータを活用しながら、担当者の“経験知”のみに頼った施策から脱却し、施策効果を見込みながら再現性の高い政策遂行の実現が期待される。

図表 KDBシステムを活用した地区別分析の例

■ 全体より数値が良好な上位2地区 ■ 全体より数値が悪い下位2地区

	BMI(n=1,930)		1人当たり医療費(n=9,394)	疾病の罹患率(後期加入者、n=9,394)			
	低栄養(<18.5)	肥満(≥25)		糖尿病	糖尿病性腎症	筋骨格系疾患等	認知症
全体	6.9%	22.1%	589,164.4	37.3%	6.7%	73.3%	12.7%
A地区	6.4%	21.1%	659,907.2	31.7%	8.0%	74.7%	13.6%
B地区	7.1%	27.5%	592,208.6	37.3%	4.2%	79.6%	16.6%
C地区	7.4%	28.1%	586,623.3	40.6%	5.6%	72.3%	16.2%
D地区	6.8%	20.4%	534,115.9	38.5%	5.6%	72.3%	16.2%
E地区	6.9%	18.1%	579,616.9	39.8%	6.1%	71.3%	10.3%
F地区	8.2%	15.5%	586,796.0	36.2%	5.6%	69.4%	7.8%
G地区	2.5%	24.2%	658,825.0	36.0%	11.2%	75.4%	12.0%
H地区	9.4%	22.7%	565,004.5	30.9%	7.4%	75.3%	13.1%

筋骨格系疾患(骨折など)や認知症が相対的に多いことから、社会参加により活動量を増加させる取り組みが必要ではないか

出所) 北杜市KDBシステムデータよりNRI作成(令和4年度老人保健健康増進等事業「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施と地域支援事業の充実に関する調査研究事業」)